

整形外科に通院中の患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究は、厚生労働省の「臨床研究に関する倫理指針」の規定により、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] キーンベック病に対する橈骨短縮骨切り術が手関節面への応力分布に及ぼす影響の検討（CT-osteoabsorptiometry 法を用いて）

[研究機関] 北海道大学病院 整形外科

[研究責任者] 岩崎 倫政（北海道大学病院 整形外科・講師）

[研究の目的] 橈骨短縮骨切り術による手関節面の応力の変化の解析

[研究の方法]

●対象となる患者さん

キーンベック病の診断で、2005年11月から2008年6月までの期間に当科で橈骨短縮骨切り術を行い、手術前後に単純CT撮影を施行された方。

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、身体所見、レントゲン写真、CT写真、MRI

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

[問い合わせ先]

北海道札幌市北14条西5丁目

北海道大学病院整形外科 担当医師 真壁 光

電話 011-706-5937